

インピーダンス

日本共産党通研支部

http://impedance.sakura.ne.jp/
jcp.impedance@gmail.com

No. 2600

2022 年 9 月 5 日

定価 1 部 10 円



NPT再検討会議

核廃絶に背を向ける核保有国
第6条履行迫る世界多数の声

8月1日から開催されてきた第10回核不拡散条約(NPT)再検討会議は26日、最終文書採択できないまま終了しました。唯一反対を表明したロシアはもとより、「核抑止力」に固執して「核兵器のない世界」への前進を押しとどめようとした核保有五大国の姿勢は厳しく問われます。



かつてないほど核兵器使用の脅威が高まっているにもかかわらず、

NPT第6条の核軍備縮小撤廃義務を履行しようとしないうる核保有国

憲法違反の「国葬」を中止せよ

志位委員長が声明発表

日本共産党の志位和夫委員長は1日、国会内で記者会見し、憲法違反の「国葬」の中止を求める声明を発表し

ました。志位氏は、安倍元首相の「国葬」について、ただちに党談話を発表し、中止を求めてきた

が、その後の岸田政権の対応で「『国葬』の強行が憲法違反であることが、いよいよ明瞭になっていく」として、「日本共産党は、憲法違反の『国葬』の計画をただちに中止すること強く求める」と述べました。(声明全文は共産党HPでご覧下さい)

の姿勢は、国際社会からの厳しい批判をよびおこさざるをえないでしょう。

今回の再検討会議では、核兵器禁止条約を力に、非核兵器国から説得力のある攻勢的な議論がくりひろげられ、核保有国は防戦に追い込まれました。

採択されなかったとはいえ、ロシアをのぞくすべての締約国が異議をとなえなかった最終文書案には、「核兵器の使用がもたらす壊滅的な人道的結末への深い懸念」、条約第6条のもとで約束している「核兵器の全廃を達成する」という核兵器国の

明白な約束の再確認、核兵器禁止条約の発効とその第1回締約国会議の開催を「認識」することなどが盛り込まれました。禁止条約の賛同国や被爆者をはじめ市民社会の声が核保有国を追い詰めた結果です。

旧統一教会関与の政治家、退場を

世界平和アピール7人委員会が声明

大石芳野、小沼通二、池内了、池辺晋一郎氏など学者や文化人らでつくる「世界平和アピール7人委員会」は

8月3日に声明を発表。声明は、「少なからぬ国民を脅し、騙し、強制し、多額の財産を奪い、家族を崩壊させてきた宗教団体の存在は間違いなく社会の治安をゆるがす問題であり、これを信教の自由で語ることはできない」と指摘。旧統一教会と関

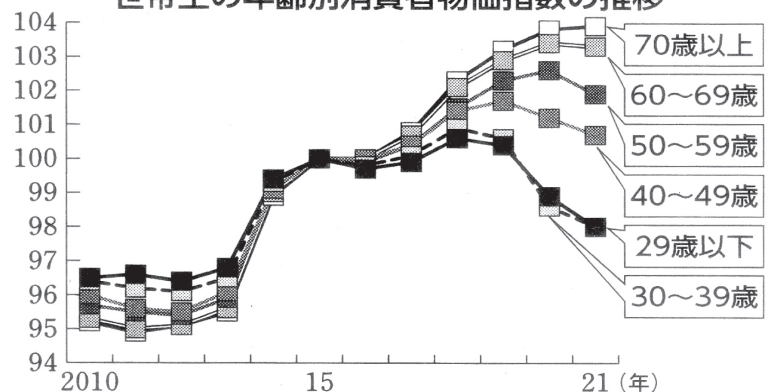
係する政治家について、「選挙で勝つためには国民の苦難を顧みない政治、国民への加害をいとわぬ宗教団体に寄生する政治と言っても過言ではない」と批判。人間のあるべき道義として即退場を求めます。

大軍拡でなく9条を持つ国の平和外交を

今週の数字

物価高 お年寄り世帯ほど影響大

世帯主の年齢別消費者物価指数の推移



総務省「消費者物価指数」から作成
「持ち家の帰属家賃を除く総合」指数を2015年=100となるよう換算

旧統一協会 危険な二つの顔 (上)

反社会的カルト集団

旧統一協会(世界平和統一家庭連合)は二つの顔をもっています。①霊感商法、集団結婚などで知られる反社会的カルト集団、②国際勝共連合をつくり「反共と反動」の先兵を

担ってきたことです。

旧統一協会は「世界基督教統一神霊協会」として韓国で1954年設立。「世界的な『政教一致国家』を樹立する」という目標を掲げ、政教一致国家の中心は、

開祖・文鮮明(メシア)と韓国と位置づけています。

同協会の資金集めを担ったのが日本の旧統一協会、マインドコントロールで日本の信者を違法な霊感商法や高額献金に駆り立ててきました。同協会の元広報部長は文鮮明側に毎月20億円を送金したと告発しています(文春84年7月号)。また教祖が選んだ相手と結婚する人権無視の集団結婚が相変わらず行われています。

安倍元首相銃撃でクローズアップした信者二世の被害も深刻です。

職場から

新型コロナウイルス。8月のコロナ死者数は7000人を超えた。1カ月当たりの人数が過去最多となると最悪の状況だ。2日、東京都では前週の同じ



曜日から12日連続で1週間前を下回った。発熱外来が混んでいてすぐに診てもらえなかった。

統一協会と国葬問題。

岸田首相が記者会見で、統一協会との関係を謝罪した。国葬を国会で説明せざるを得なくなつて閉会中審査に出席すると表明。国民の批判が高まり、追いつめられた結果だ。批判が急増している、国葬は中止すべきだ。

来年度予算の概算要求(31日)。「防衛省は

にあるのが、絶対的な医師不足です。

とし医師の増員に背を向けています。

日本の医師数は、OECD加盟国の単純平均より約13万人も少なく、47都道府県すべてがOECD平均を下回っています。厚生労働省は新たな「医師確保計画」の議論を続けていますが、安倍政権時に医療提供体制の「効率化」として盛り込まれた大学医学部の総定員数の削減を大前提

地方12県でつくる「地域医療を担う医師の確保を目指す知事会」は7月、「地域医療崩壊」の危機的状況だとして政府に対策を迫る提言を決議。地域偏在解消や新興感染症への対応のためには「医師の絶対数を増やすことが必要」と強調しています。

過去最大5.6兆円。事項要求を含めれば6兆円を突破する。金額だけでなく中身も問題だ。長射程のミサイルなど敵基地攻撃を想定した



ものだ。国民生活犠牲の税金つぎ込みだ。軍事対軍事では世界を滅ぼすことになる。

物価値上げが続く。生活必需品などの値上げが止まらない。節約も限界だ。政府は物価対策に本気でと取り組んでほしい。軍事費の突出をやめ、まずは消費税減税だ。企業の内部留保は初めて500兆円を超えた。賃上げ



達「過去の最多記録はヤクルトのバレンティンの60本だ」

「台風と前線の影響で天候がくるくる変わる」にわか雨が土砂降りになった。洗濯物の外干しができない。暑さが続いた時期にはあまり咲かなかった朝顔、いまたくさん咲いて毎朝が嬉しい。

科学ピックアップ

リュウグウの砂 太陽系外縁で形成か

英科学誌「ネイチャー・アストロノミー」

8月16日付

探査機「はやぶさ2」が持ち帰った小惑星「リュウグウ」の砂の分析結果を、海洋研究開発機構などが発表しました。

海洋機構高知コア研究所の伊藤元雄主任研究員らは、リュウグウの砂8粒を大型放射光施設「スプリング8」などで分析。その結果、リュウグウの砂には、地球の物質に含まれる窒素や水素よりも重い同位体が多く存在することが判明。重い同位体は彗星など太陽系外縁部に起源を持つ天体に多く、リュウグウの砂もこうした場所で形成された後、太陽系の内側に運ばれてきた可能性が高いことが分かりました。

繰り返される医療逼迫 背景に絶対的な医師不足

コロナ禍で繰り返している医療逼迫の背景

にあるのが、絶対的な医師不足です。

とし医師の増員に背を向けています。

政治革新の道しるべ、真実つたえ希望はこぶ

しんぶん 赤旗

日刊●月 3497円
日曜版●月 930円